光受寺通信

H.２３・６月１日
発行者　　光受寺

本年五月。本堂改修工事に着手。事前に総代さんはじめ多くの御門徒の方々のご協力をいただき、荷物の整理、搬出にご協力をいただきました。おかげさまでようやく山門、内陣などの解体、取り外しができるまでになりました。今後は本堂に足場を組み、耐震基礎工事等が始まります。

先日堂内の荷物の整理をしておりましたら、多くの古文書や、経本を書写した歴代の住職の手の跡が残っていました。ところどころに朱書きでの註があったり、若き住職の辞世の句があったりで、しばらく整理の手を休め、当時の先人の思いに、思いを馳せながら、法義相続の御苦労を偲んでいました。

私は今回の改修工事というご縁を頂いたことにより、改めて自分の住職としての使命を痛感させられたことです。これからも御門徒の皆様とともに歩む歩みを通して、次世代へバトンを渡していきたいと思っております。

しだれ梅は完全防御

ようやく枝が伸び始めおよそ5～60センチほど。今年は木の上部の芽つきが悪く、全体の形が整わない感じです。

本堂内陣天井板取り外し作業

山門解体工事の様子

解体終了後の様子

改修工事日程

五月二十八日…山門解体終了
五月二十九日～
六月　二日…本堂外部足場架設
畳撤去
六月　三日～　浜縁解体
八日…本堂床　外壁解体

第三百三十八回「蓮如聖人御影吉崎別院御下向式」執行　四月二十九日

毎年、吉崎別院（福井県あわら市）において勤められる「蓮如上人ご遠忌法要」にあわせて、上人が北陸教化のために歩いたとされる真宗本廟から吉崎別院までの約280キロを、随行教導、宰領をはじめとする供奉人（ぐぶにん）方が中心となり、徒歩で上人の御影をお運びする（御下向）。

御下向式では、蓮如上人の御影を阿弥陀堂内陣余間に荘厳する「御影お腰延ばしの儀」の後、お勤めが行われた。安原晃宗務総長の挨拶、牧野豊丸随行教導のあいさつの後、御影は神輿に納められ、阿弥陀堂を出発。多くの参詣者に見守られながら、「蓮如上人さまのお通り～」という掛け声に先導され280キロの旅に出た。（同朋新聞を参考にさせていただきました。）

当寺より　M･Mさん（76）さんが参加されました。去る5月の勉強会では参加報告会をしていただきました。4月29日から5月5日目での一週間、280キロの行程でした。参加者は全国から女性を含めておよそ30名。完歩された方は20人という過酷なものでした。もちろん森さんは完歩され、最高年齢は82歳の方が2名いらっしゃったということでした。蓮如

上人の歩まれた道、立ち寄られた場所等およそ一日10か所程度に立ち寄り、約40キロを歩くというもの。夜は本堂などでのざこ寝で、お風呂は2回しか入れなかったということでした。足にできた豆は針とアカチンを浸した糸で治療。森さんにとっては初めての貴重な体験になったようでした。

　来年以降参加したいと思われる方は是非どうぞ。ただし体力に自信がないと、かなりきつそうですよ。また事前に申し込みが必要とのことです。

生きる力を求めて

Give Me the Power　to Live　　中村久子の世界

3歳にして両手、両足を失った中村久子さん。
その生涯は言語を絶する感動の人間ドラマ。
手足なき身の事実を引き受けて、誰よりも力強く生き抜かれた彼女の生涯を描く。
写真と感動の言葉で綴る写真集。　　1,200円　　寺からの注文は2割引。

来年1月勉強会は、三島多聞師の「中村久子」さんについての
「講話ビデオ」観賞会を行います。
これを機会にぜひ一度ご参加ください。

坊守が大切にしている花だそうです。

山紫陽花がより早く咲くようです。
　花が小さくてパッとしませんが、清楚でかわいらしいです。

あじさい、そろそろ見ごろ。

光受寺には珍しい山紫陽花も咲いています。工事中なので危険ですが、日曜日なら大丈夫。工事の進行状況も見ていただけたらと思っています。ぜひお越しください。

記事募集…100％掲載させていただきます。ご協力をお願いします。
匿名（とくめい）希望でも結構です。
インタビュー形式でも結構です。情報ください。